

第10回 岡山県新型コロナウイルスワクチン 接種体制確保協議会

令和5年4月14日

岡山県新型コロナウイルス
ワクチン接種体制確保協議会

令和5年春開始接種の接種体制等について

令和5年度のワクチン接種に関する国の方針①

＜位置づけ＞

- ・ 予防接種法に基づく特例臨時接種を令和6年3月31日まで1年間延長する。（接種対象者は自己負担なく接種を受けられる。）
- ・ 重症化予防を主な目的とする。

＜追加接種スケジュール＞

- ・ 5月～8月 令和5年**春開始**接種
- ・ 9月～ 令和5年**秋開始**接種

＜令和5年春開始接種の概要＞

- ・ 接種対象者
初回接種が完了し、最後の接種から必要な接種間隔が経過した
 - ① **65歳以上の者**
 - ② **5～64歳の基礎疾患を有する者その他新型コロナウイルス感染症にかかった場合の重症化リスクが高いと医師が認める者**
（②を以下「基礎疾患を有する者等」という。）
 - ③ **医療従事者等及び高齢者施設等の従事者**
- ・ 使用するワクチン
ファイザー（小児用を含む）及びモデルナのオミクロン株対応ワクチン
ノババックスワクチン

3

令和5年度のワクチン接種に関する国の方針②

＜令和5年秋開始接種の概要＞

- ・ 接種対象者
初回接種が完了し、最後の接種から必要な接種間隔が経過した5歳以上の者
- ・ 使用するワクチン
未定（令和5年度の早期に結論を得るよう、今後検討を進める。）

＜公的関与＞

- ・ 令和5年春開始接種以降に行う追加接種については、次の者に限り、予防接種法上の接種勧奨及び努力義務の規定が適用される。
 - ① 65歳以上
 - ② 5～64歳の基礎疾患を有する者等

＜その他＞

- ・ 小児（5～11歳）のオミクロン株対応ワクチン（令和4年秋開始接種）の未接種者は、基礎疾患を有する者等に該当しない場合であっても、令和5年春開始接種の開始以降も接種が可能
- ・ 引き続き、初回接種（※）を実施する。
※ 5歳以上は1・2回目、乳幼児（生後6か月～4歳）は1～3回目の接種

4

令和5年度のワクチン接種に関する国の方針③

＜接種スケジュールと接種対象のイメージ＞

R5.3.9開催第25回厚生労働省
自治体向け説明会資料（抜粋）

		R5.3.8		R5.5月		R5.9月		R6.3.31	
		2022年度				2023年度			
		令和4年秋開始接種		令和5年春開始接種		令和5年秋開始接種			
12歳以上	65歳以上	(公的関与)	接種対象	(公的関与)	接種対象	(公的関与)	接種対象	(公的関与)	接種対象
	基礎疾患あり	○		○		○			
	医療従事者等	×		×		×			
	上記以外 (健常な65歳未満)	○		接種対象外		×			
5～11歳	基礎疾患あり			○	接種対象	○		○	
	上記以外 (健常な小児)			×	接種対象外	×		×	
				未接種者は継続（公的関与 ×）					
生後6か月～4歳（初回接種）		接種対象（従来型ワクチン） (公的関与 ○)							
初回接種未完了者		接種対象（従来型ワクチン） (公的関与 ○)							

公的関与：予防接種法に基づく接種勧奨及び努力義務 5

（参考）基礎疾患を有する者の範囲

＜「基礎疾患を有する者」の範囲＞

R5.3.27開催第26回厚生労働省
自治体向け説明会資料（抜粋）

18歳未満の方の場合

- 以下の病気や状態の方で、通院／入院している方
- 慢性呼吸器疾患
 - 慢性心疾患
 - 慢性腎疾患
 - 神経疾患・神経筋疾患
 - 血液疾患
 - 糖尿病・代謝性疾患
 - 悪性腫瘍
 - 関節リウマチ・膠原病
 - 内分泌疾患
 - 消化器疾患・肝疾患等
 - 先天性免疫不全症候群、HIV感染症、その他の疾患や治療に伴う免疫抑制状態
 - その他の小児領域の疾患（高度肥満、早産児、医療的ケア児、施設入所や長期入院の児、摂食障害）

18歳以上の方の場合

- 以下の病気や状態の方で、通院／入院している方
 - 慢性の呼吸器の病気
 - 慢性の心臓病（高血圧を含む。）
 - 慢性の腎臓病
 - 慢性の肝臓病（肝硬変等）
 - インスリンや飲み薬で治療中の糖尿病又は他の病気を併発している糖尿病
 - 血液の病気（ただし、鉄欠乏性貧血を除く。）
 - 免疫の機能が低下する病気（治療中の悪性腫瘍を含む。）
 - ステロイドなど、免疫の機能を低下させる治療を受けている
 - 免疫の異常に伴う神経疾患や神経筋疾患
 - 神経疾患や神経筋疾患が原因で身体の機能が衰えた状態（呼吸障害等）
 - 染色体異常
 - 重症心身障害（重度の肢体不自由と重度の知的障害とが重複した状態）
 - 睡眠時無呼吸症候群
 - 重い精神疾患（精神疾患の治療のため入院している、精神障害者保健福祉手帳を所持している、又は自立支援医療（精神通院医療）で「重度かつ継続」に該当する場合）や知的障害（療育手帳を所持している場合）
- 基準（BMI 30以上）を満たす肥満の方

<岡山県の方針>令和5年春開始接種の開始時期

- 令和5年春開始接種は、5月8日（月）から開始する。
- 予約の受付も、5月8日（月）から開始する。

- 令和5年春開始接種は対象者が限られているため、住民や医療機関、高齢者施設等への接種対象範囲の周知を徹底する。
- 県共通予約システムによる予約の受付は、5月8日午前8時30分から開始する。

7

<岡山県の方針>接種券の発送

- 新たに送付する接種券の発送方法は、地域の実情に応じて、市町村ごとに決定することとする。

- 令和5年度も、接種及び予約には接種券が必要となる。
- 令和4年秋開始接種の未接種者は、既に送付されている未使用の接種券を使用することで統一する。
したがって、令和4年秋開始接種の未接種者に対しては、市町村から新たな接種券を送付しないこととする。
- 接種券の早期到着による間違い接種を防止するため、市町村は、5月8日以降に接種券が到着するように発送する。
- 市町村は、住民へ自市町村の接種券の発送方法を周知するとともに、接種券に関する住民からの問い合わせに適切に対応できる体制を確保する。

8

(参考) 市町村ごとの接種券の発送方法

全員に送付する市町村

岡山市	和気町
倉敷市	早島町
津山市	里庄町
玉野市	矢掛町
笠岡市	鏡野町
井原市	勝央町
総社市	奈義町
高梁市	美咲町
瀬戸内市	
美作市	
浅口市	

計19市町村

65歳以上に送付する市町村(※)

※ 65歳未満の対象者への発送方法は、市町村ごとに異なる。

新見市
備前市
赤磐市
真庭市
新庄村
西粟倉村
久米南町
吉備中央町

計8市町村

※ 令和4年秋開始接種の未接種者は、既に送付されている未使用の接種券を使用するため、市町村から新たな接種券は送付されない。

9

<岡山県の方針> 令和5年度の接種体制

- 県民が、県内どこの接種施設でも申請不要で接種できる全県での共同体制を継続する。
- 各市町村において、個別接種中心の接種体制へ移行を進めつつ、必要に応じて集団接種も実施する。

- 接種施設が行う接種費用の請求についても、引き続き、被接種者の居住地にかかわらず、全て岡山県国民健康保険団体連合会（国保連）へ請求する。
- 令和5年春開始接種と令和5年秋開始接種で対象者が異なっていることや、接種券の発送時期等も踏まえた上、接種人数に応じた接種体制を確保する。

令和4年秋開始接種の終了

- 令和5年5月7日（日）をもって、令和4年秋開始接種が終了となる。
- 令和5年春開始接種の対象とならない12～64歳の者（※）は、5月7日を過ぎると9月まで接種することができなくなる。

※次の事項に該当しない者

- ①基礎疾患を有する者等
- ②医療従事者等
- ③高齢者施設等の従事者

- 令和4年秋開始接種が未接種で令和5年春開始接種の対象とならない者について、接種を希望する場合は、5月7日までに接種するよう周知を図る。
- 5月8日以降に間違い接種が発生しないよう医療機関へも制度の周知を徹底する。

11

小児・乳幼児への接種の継続

- 小児（5～11歳）は、オミクロン株対応ワクチンによる追加接種が始まってからの期間が短いため、5月8日以降もオミクロン株対応ワクチンの接種機会が確保されている。
- 乳幼児（生後6か月～4歳）へは、従来型ワクチンによる初回接種を継続する。
- 引き続き、各市町村において、小児・乳幼児へ接種の機会を提供できる体制を整える。

- 乳幼児は、初回接種として3回の接種が必要であることの周知を図る。（乳幼児以外の初回接種は2回の接種）

12

初回接種・ノババックスワクチン接種の継続

- 初回接種の未完了者や、mRNAワクチンに対するアレルギーがある者等のために、引き続き、各市町村において、従来型ファイザーワクチン及びノババックスワクチンの接種機会を提供できる体制を整える。

○注意事項

- ・ 初回接種には、オミクロン株対応ワクチンを使用することができない。
- ・ ノババックスワクチンの追加接種の対象年齢が、令和5年3月8日以降、12歳以上に引き下げられている。（引き下げ前は18歳以上）
- ・ ノババックスワクチンを追加接種に使用する場合は、6か月の接種間隔が必要とされている。

13

副反応に係る相談窓口と医療提供体制

- 県は、被接種者や保護者からの副反応等に係る相談に対応するため、引き続き、専門の電話相談窓口を設置する。
- 県は、かかりつけ医等が副反応が疑われる症状を診察した場合の、相談・紹介先となる専門的な医療機関を確保し、引き続き、副反応に対応可能な医療提供体制を維持する。

○ワクチン接種後の副反応疑いに関する専門的な相談・診療体制



14

(参考) 岡山県のワクチン接種状況①

<オミクロン株対応ワクチン接種状況>

(令和5年4月11日時点)

区分	人口	接種回数	接種率
5～11歳	113,878	1,264	1.1%
12～64歳	1,125,273	389,681	34.6%
65歳以上	570,197	428,953	75.2%
全年齢	1,879,187	819,898	43.6%

5～11歳	12～19歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
1.1%	23.8%	22.7%	24.8%	31.9%	48.3%	64.0%	76.3%	78.5%

(※) 人口は、【統計】令和4年住民基本台帳年齢階級別人口(市町村別)令和4年1月1日時点の数値

15

(参考) 岡山県のワクチン接種状況②

<回数別ワクチン接種状況>

(令和5年4月11日時点)

区分	人口	1回目		2回目	
		接種回数	接種率	接種回数	接種率
生後6か月～4歳	69,839	2,036	2.9%	1,868	2.7%
5～11歳	113,878	20,079	17.6%	19,356	17.0%
12～64歳	1,125,273	932,037	82.8%	927,223	82.4%
65歳以上	570,197	536,253	94.1%	534,989	93.8%
全年齢	1,879,187	1,490,405	79.3%	1,483,436	78.9%

区分	人口	3回目		4回目		5回目	
		接種回数	接種率	接種回数	接種率	接種回数	接種率
生後6か月～4歳	69,839	1,124	1.6%				
5～11歳	113,878	8,122	7.1%	985	0.9%		
12～64歳	1,125,273	743,961	66.1%	384,329	34.2%	92,755	8.2%
65歳以上	570,197	519,037	91.0%	472,655	82.9%	366,261	64.2%
全年齢	1,879,187	1,272,244	67.7%	857,969	45.7%	459,016	24.4%

(※1) 3～5回目の接種状況には、オミクロン株対応ワクチンでの接種を含む。

(※2) 生後6か月～4歳の人口は、0～4歳の人口を計上

16